

2017年
10月
発行

日本共産党福島県議会議員団
県庁内・控室 福島市杉妻町2の16
FAX 024・521・7618
Eメール jcpfsk@jcp-fukushima.gr.jp

9月定例会県議会が、9月19日～10月4日まで16日間の会期で開催されました。9月21日に宮川えみ子県議が代表質問、同26日に吉田英策県議が一般質問、10月3日に宮本しづえ県議が総括質問、4日の最終日に阿部裕美子県議が討論を行いました。

東電に再稼働の資格なし

電の経営状態を再稼働の理由にすることは許されない、再稼働させるというのは、たんに東電の方針だけでなく安倍政権の方針だと厳しく批判しました。

核兵器禁止条約を政府は署名を

圧倒的賛成で国連で締結された「核兵器禁止条約」に日本政府も署名をするよう国に求めるべきと知事に質問しました。唯一の戦争被爆国である日本が、条

約に背を向けることは内外の強い失望と怒りを招いていると指摘。他に教員の多忙化解消、浜通り地方の医師・看護師確保支援、子どもの虐待対応、米の全量全袋検査体制の継続などを求めました。

北朝鮮に強く抗議するとともに対話による平和的解決を基本に

代表質問では、北朝鮮の相次ぐ暴挙に厳しく抗議しました。そして、偶発的な事態や誤算で軍事衝突が起きかねない今こそ、米朝の直接対話を強く求めることが唯一の解決手段であると強調しました。



がれき撤去作業中の福島第一原発建屋
＝6月8日共産党県議団視察



福島第一原発の井戸「サブドレイン」の水位計設定ミスに対し抗議と再発防止を求め東電に申し入れ＝9月29日



代表質問する
宮川えみ子県議
9月21日

柏崎刈羽原発の再稼働中止を

原子力規制委員会が認めようとしている、新潟県の「柏崎刈羽原発」の再稼働中止を国と東京電力に求めることを知事に質しましたが、「国と東電の責任において検討されるべきもの」と答えるにとどまりました。原発の再稼働に対する「規制基準」そのものが重大事故へのまともな備えがない、福島原発事故を起こした東電には原発を運転する資格がない、規制委員会が東

9条 自衛隊明記は戦争への道



討論に立つ
阿部裕美子県議
10月4日

律の一般原則であり、9条2項の戦力不保持が空文化してしまうと厳しく指摘し、9条改定は認められないと強調しました。

消費税10%への引き上げ中止を

「消費税10%への引き上げ中止」の意見書では、一世帯年間6万2千円の負担増になる、子育て・教育費や社会保障財源は、税の「応能負担の原則」にのっとり大企業・大金持ちに応分の負担を求めれば、消費税増税なしでも財源確



県民の願いに背を向ける自民・公明

否決された意見書（○賛成・×反対）	共産	自民	公明	民進
核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	○	×	×	○
消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書	○	×	×	×
憲法第9条を改正しないことを強く求める意見書	○	×	×	○
いわゆる「共謀罪」の廃止を求める意見書	○	×	×	○

子どもや障がい者が暮らしやすい県政に



一般質問する
吉田英策県議
9月26日

り親の医療費の窓口無料化を求めましたが、県は明言しませんでした。

教育費の保護者負担軽減を

吉田英策県議は、障がい者支援、教育費負担軽減、子どもの貧困対策、風力発電の集中立地問題などで県の姿勢を質しました。

知事公見に手話通訳を

障がい者支援では、合理的配慮を求める「障がい者差別解消法」に照らし知事の定例会見に手話通訳者を配置すべきと求めました。

重度障がい者 ひとり親 医療費窓口無料化を

重度心身障がい者・ひと

住民合意を前提とすべき

風力発電集中立地にルールを



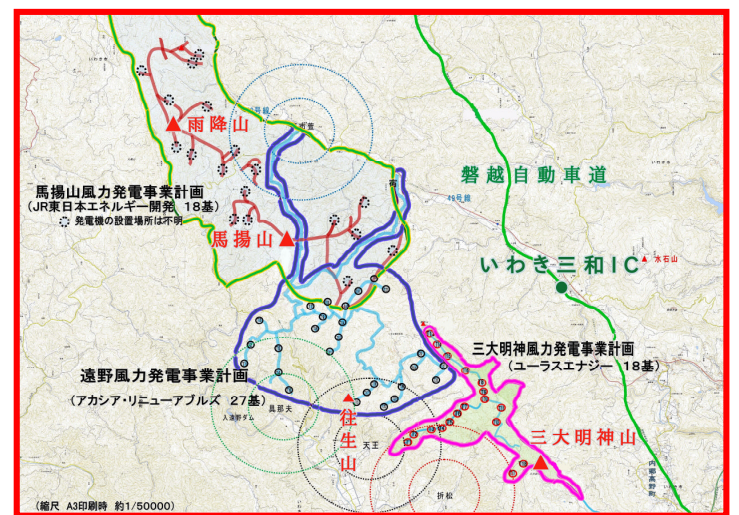
吉田県議は、いわき市入遠野地区を中心に風力発電3事業者が、合わせて最大60基もの風力発電を計画していることから、集中立地に規制を求めました。

質問に先立ち「遠野の環

境を守る友の会」は、集中立地によって土砂崩れ・水源枯渇や汚濁・低周波・景観悪化などの重大な影響があるとして規制を県に求め、要望書を提出しました。



9/21 遠野の環境を守る友の会が県に要望書を提出



(上) いわき市遠野地区を中心に三大明神・遠野・馬揚山の3風力発電計画で60基もの風車の建設が予定されています。

計画地は山林急傾斜地で、山を削り、埋め立て風力発電機を設置する計画で、周辺3キロ圏内に二百数十戸の住宅があり、生活用水の影響や、土砂災害の危険性が高く、住めない地域になってしまうと危機感を募らせています。

地域住民の皆さんが県に計画の見直しを求めるのも当然です。県は再生可能エネルギーを推進するにあたっては、住民合意を前提とし、集中立地を規制するルールをつくるべきです。

暮らし

福祉

子育て

教育

優先の政治を

県民の声を県政・国政へ



9/13 高野病院理事長と懇談



9/7 川内村遠藤村長から要望聞き取り



9/11 県林業会議より
森林除染等の要望を受ける



9/19 支援団体より
避難者支援継続の要望を受ける



7/31 農民連が米の全量全袋検査
継続を県に要望



9/17 街頭から憲法9条
守ろうと訴える神山県議



総括質問に立つ
宮本しづえ県議
10月3日

避難者に寄りそう県政を

追加除染の促進を

町については、延長要件の拡大を求めました。

国直轄除染の避難区域では、ホットスポットが多数に上り、富岡町だけでも数千カ所でフォロアアップ除染を実施しています。

住民の希望に基づき年間1ミリシーベルト以下を堅持するよう求めました。

かかわらず、全ての県民の精神的賠償を求めるべきと質しました。避難区域も来年3月末で精神的賠償が終了、生活不安が高まっております賠償の継続を求めました。

仮設住宅延長の柔軟対応を

今年3月に避難解除された区域の仮設、借り上げ住宅供与を再来年3月末で終了する方針について、避難者個々の生活条件を勘案し、柔軟な対応が必要だと質しました。

来年3月で終わる檜葉

すべての県民の精神的賠償の実施を

避難指示、避難の有無に

夜間中学設置を!!

宮本県議は夜間中学について、3年間の調査を踏まえ県立での設置を求めました。



9/11 福島に公立夜間中学をつくる会の要望を受ける県議団



吉田英策(いわき市)



宮本しづえ(福島市)



宮川えみ子(いわき市)



阿部裕美子(伊達市・郡)



神山悦子(郡山市)

県民の声まっすぐ届ける 5人の共産党県議